

5. 計画策定に向けた課題の整理

「環境保全」「景観形成」「レクリエーション・観光」「防災」の系統別に抽出した課題については主に「自然環境などの緑の保全」、「身近な緑の創出や緑の質や量の向上」、「市民活動の継続・活性化による身近な緑の創出や緑の質や量の向上」「自然環境や利用を有機的にネットワークする」の4点から成立しており、それぞれを「まもる」、「つくる」、「はぐくむ」、「つなぐ」の4つの言葉に置きかえてその内容について整理した。

■ まもる （自然環境などの緑の保全）

- 市の自然環境を保全する
 - ・ 山地、田園、海浜、干潟、防風林緑地、湿地などの自然環境の保全
- 市の歴史や文化にちなんだ緑を「まもる」
 - ・ 田原らしさを醸成する歴史、文化遺産などの緑や風景の保全

■ つくる （身近な緑の創出や緑の質や量の向上）

- 「緑」の創出
 - ・ 緑量の不足する地区における新しい「緑」の整備
- 「緑」の再生
 - ・ マツ枯れなどにより現在良好でない状態の緑の再生
- 「緑」の向上
 - ・ 緑量の不足する既存施設などにおける緑の質と量の向上

■ はぐくむ （市民活動の継続・活性化による身近な緑の創出や緑の質や量の向上）

- 現在の活動の継続
 - ・ 現在市域で実施されている多岐にわたる活動の継続
- 参加機会の提供
 - ・ これまでの緑化活動をさらに高め、気軽に参加できる活動の提供
- 「緑」の継続につながる活動の展開
 - ・ 花きによる緑化のみならず、市域の継続的な緑化につながる新たな活動の推進

■ つなぐ （自然環境や利用を有機的にネットワークする）

- 環境のネットワーク
 - ・ 生物の多様性や生態系のネットワークを高める市全域でのエコトーンの形成
- 景観のネットワーク
 - ・ 多数の景観ポテンシャルを有する田原市において、景観対象のみならず、中・近景の向上
- 利用のネットワーク
 - ・ 市内外からの広域、日常の利用を促し、「緑」に関連する活動連携の向上
- 防災のネットワーク
 - ・ 市民の安全・安心を向上させる、緑の防災ネットワークの形成

図 2-5-1 : 課題の整理模式図

